

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年2月7日

事業所名:ABUW春日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	<input type="radio"/>		集団トレーニングと個別トレーニングを実施する部屋をそれぞれ設けています。	
	2	職員の配置数は適切である	<input type="radio"/>		基本人員に加えて専門職員を加配しています。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	<input type="radio"/>		段差等もなく安全な空間を整備しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	<input type="radio"/>		集団トレーニングと個別トレーニングを実施する部屋をそれぞれ設けています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	<input type="radio"/>		定期的なミーティングと朝礼・終礼にて情報共有を図っています。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	<input type="radio"/>		保護者向けの評価結果をもとに、職員間で情報共有し、再検討しています。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	<input type="radio"/>		ホームページにて結果を公表しています。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		<input type="radio"/>		現在は第三者評価は行っておりません。 今後、実施する場合はご報告します。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	<input type="radio"/>		資格習得や知識向上のためオンラインや実地研修を外部研修にて受けています。	

適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		お子様の評価と保護者様のニーズをヒアリングし、それぞれの特性に応じた計画を作成しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	<input type="radio"/>		運動療法に特化した事業所のため、運動機能評価を全員に実施しています。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	<input type="radio"/>		事業所の特徴でもある運動機能を中心に、「発達支援」「家族支援」「地域支援」それぞれに必要な療育内容を計画に示しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	<input type="radio"/>		計画に沿った療育を提供しています。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	<input type="radio"/>		定期的なミーティングにて療育内容を立案、再考しています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	<input type="radio"/>		日替わりの活動内容を組んでいるので、多種多様な療育を提供しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて児童発達支援計画を作成している	<input type="radio"/>		全てのお子様に対して集団と個別のトレーニングを提供しています。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	<input type="radio"/>		定期的なミーティングにて、お子様の療育方針、内容を検討しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	<input type="radio"/>		当日に必ず支援内容を振り返りや情報共有をしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	<input type="radio"/>		支援内容や気付いた点を記録に残しています。	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	<input type="radio"/>		3ヶ月毎に評価、ヒアリングを実施し、計画の見直しを実施しています。		

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		原則、児童発達支援管理責任者を会議参加させていますが、お子様の状況に応じて専門職員を参加させる場合もあります。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		利用時の連絡帳での報告、送迎・お迎え時の情報共有を必ず実施しています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	—	—		対象のお子様がこれまでにいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	—	—		対象のお子様がこれまでにいません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時にて事業所での日常の様子の情報提供や、園での状況確認をしています。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	—	—		対象のお子様がこれまでにいません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		担当者会議での情報共有や、特別な出来事の際に連携を図っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		コロナウィルスの影響ため、機会は設けていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		コロナウィルスの影響ため、機会は設けていません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		利用時の連絡帳での報告、送迎・お迎え時の情報共有を必ず実施しています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	○		定期的な療育見学会を実施しており、保護者様に事業所にお越しいただき、様子の観察や、療育のアドバイスをしております。	コロナウィルスの影響ため、見学会を一時停止しています。

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	<input type="radio"/>		契約時に説明し、契約書や重要事項説明書にサインをいただいています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	<input type="radio"/>		お子様の状況や療育の内容を説明しながら計画の説明及び、同意をいただいています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	<input type="radio"/>		連絡帳でのお悩みの相談支援、送迎・お迎え時の相談支援を実施しています。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		<input type="radio"/>		コロナウィルスの影響ため、機会を設けていません。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	<input type="radio"/>		ご意見や疑問点を頂いた場合、職員間で共有し、前向きに検討しています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	<input type="radio"/>		会報ではなくSNSやブログにて情報発信をしています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	<input type="radio"/>		個人情報保護法に基づいた体制をとっています。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	<input type="radio"/>			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		<input type="radio"/>		コロナウィルスの影響ため、機会を設けていません。
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	<input type="radio"/>		職員間において、マニュアルの内容理解や研修を実施しています。
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	<input type="radio"/>		職員間において、マニュアルの内容理解や研修を実施しています。	
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	<input type="radio"/>		対象者はこれまでにませんが、保護者に適時状況確認をしています。	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		対象のお子様がこれまでにありません。
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	<input type="radio"/>		ヒヤリハット発生時には作成し、職員間で情報共有と防止策を検討しています。	
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	<input type="radio"/>		職員間において、マニュアルの内容理解や研修を実施しています。	
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	<input type="radio"/>		対象者はこれまでにませんが、療育の中で指導した内容は、必ず保護者に報告をしています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。